

《公開用感染制御相談事例集(Q&A)》

相談事例 No.5

区分 洗浄・消毒・滅菌・再利用

【質問】

気管内吸引用のチューブは1回ごとに廃棄した方がよいでしょうか？

【回答】

気管内吸引では清潔操作が必要とされ、気管内吸引チューブに関しては国内外の診療ガイドラインで、

・気道に用いる医療材料は、粘膜面に接触することから、医療器具の適切な滅菌や消毒のためのスποルディングの分類においてセミクリティカルに分類されており、十分に洗浄を行った後、高水準消毒を行うこと

・開放式システムの気道分泌物吸引では、滅菌の単回使用カテーテルを用いることが推奨されています。なお、中水準消毒のアルコール綿で消毒したカテーテルでは、気管内吸引の際、微生物を患者の下気道に誘導する可能性があり、医療ケア関連の肺炎の要因となります。

また、使用後の吸引カテーテルを再生使用するためには、洗浄し高水準消毒を行う必要がありますが、洗浄・消毒にかかるコスト(洗浄代・消毒薬代・人件費など)もありますので、単回使用をした場合との比較検討をされるとよろしいかと思えます。また、吸引チューブを消毒薬に浸漬する方法(インフェクションコントロール 2011 秋季増刊, 96-97 メディカ出版 参照)もありますが、使用前に消毒薬を取り除くなどの処理が必要になるため管理が難しいと考えます。

一方で、口腔内吸引器具もスποルディングの分類では同様にセミクリティカルとなりますが、口腔内の常在菌なども考慮し、気道吸引ほどの消毒レベルを求めないとしている医療機関もあります。

《参考文献等》

- 1) 医療ケア関連肺炎防止のための CDC ガイドライン. メディカ出版, 2004
- 2) 病院感染対策ガイドライン 改訂版. 国公立大学付属病院感染対策協議会/編, じほう, 2012 (P.94~95)
- 3) 感染対策ズバツと問題解決ベストアンサー171. インフェクションコントロール 2011 秋季増刊号,

メディカ出版, 2011 (P.96-97)